



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月14日

上場会社名 ポエック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9264 URL http://www.puequ.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 采女 信二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 吉本 貞幸 TEL 084 (922) 8551
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	3,243	4.9	131	52.7	134	39.9	89	2.6
2020年8月期第2四半期	3,091	10.9	86	27.1	96	31.9	87	80.3

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 98百万円 (12.5%) 2020年8月期第2四半期 87百万円 (39.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	38.19	38.16
2020年8月期第2四半期	42.27	42.06

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	8,862		2,686			30.3
2020年8月期	8,649		2,579			29.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 2,686百万円 2020年8月期 2,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	-	0.00	-	38.00	38.00
2021年8月期	-	0.00	-	-	-
2021年8月期（予想）	-	-	-	38.00	38.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,589	7.9	298	35.8	291	14.1	182	△18.2	78.54

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	2,353,500株	2020年8月期	2,321,400株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	970株	2020年8月期	640株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	2,347,565株	2020年8月期2Q	2,066,605株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済活動が制限されておりましたが、段階的な経済活動の再開に伴い、景気の先行き不透明感は依然として残るものの、持ち直しの動きも期待されているところであります。

当社グループは、このような環境下で国土強靱化計画の進捗を背景に、防潮壁「シーウォール」の受注を積み上げ、実績に反映してきたこと等で業績を牽引しました。

一方、ウイルス感染が拡大していることへの対応としてリモート会議システムを営業に積極的に活用することで、これまで移動や出張等により発生していた経費を削減してきました。

こうした取組みによって売上高及び利益が増加し、総じて経営成績は順調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,243百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益131百万円（前年同期比52.7%増）、経常利益134百万円（前年同期比39.9%増）となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は89百万円（前年同期比2.6%増）となり、上記の各段階利益の前年同期比の伸び率に対して低水準となりました。

この要因は、前第2四半期連結累計期間においては、協立電機工業株式会社のM&Aによる負ののれん発生益24百万円を特別利益に計上しておりましたが、当第2四半期連結累計期間では、これに相当する特別利益が発生しなかったためであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(環境・エネルギー事業)

国土強靱化計画の一環である津波対策を背景として、防潮壁「シーウォール」の売上が飛躍的に増加しました。

このほか、新型コロナウイルス感染症対策としてのオゾン装置の拡販効果が徐々に成果に表れてきております。

さらに、これらのことに加えて、前第2四半期連結会計期間より子会社化した協立電機工業株式会社の業績が上乘せされ、全体として経営成績は好調に推移しました。

以上の結果、環境・エネルギー事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,875百万円（前年同期比29.1%増）、セグメント利益は85百万円（前年同期比239.3%増）となりました。

(動力・重機等事業)

船舶、プラント関連市場及び工作機械関連市場において、新規顧客の開拓を重点施策に挙げて営業活動を展開してまいりました。しかしながら、受注案件の計上時期が下半期に偏る傾向があり、実績に反映できていない案件が増加したことで、総じて経営成績は低調な推移となりました。

以上の結果、動力・重機等事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,124百万円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益は86百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

(防災・安全事業)

ウイルス感染被害が拡大してきたことに対応し、営業手法にリモート会議システムの導入を促進してまいりました。このことにより顧客や現場への訪問、出張経費の削減につながりました。

一方、病院や介護施設においては需要環境が想定以上の低水準で推移し、経費は圧縮できたものの、当社グループが持つ引合い案件におきましては設置時期を延期するものが多数発生し、経営成績は低調に推移しました。

以上の結果、防災・安全事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は244百万円（前年同期比30.7%減）、セグメント利益16百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間期末における総資産は8,862百万円（前連結会計年度末は8,649百万円）となり、212百万円増加しました。流動資産は4,779百万円（前連結会計年度末は4,698百万円）となり、81百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加119百万円、電子記録債権の増加98百万円等によるものであります。固定資産は4,082百万円（前連結会計年度末は3,951百万円）となり、131百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物の増加9百万円、投資有価証券の増加53百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は6,175百万円（前連結会計年度末は6,070百万円）となり、105百万円増加しました。流動負債は3,261百万円（前連結会計年度末は3,324百万円）となり、62百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が81百万円増加した一方、短期借入金100百万円、未払法人税等が20百万円減少

したこと等によるものであります。固定負債は2,913百万円（前連結会計年度末は2,745百万円）となり、167百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加170百万円等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,686百万円（前連結会計年度末は2,579百万円）となり、107百万円増加しました。これは主に、新株予約権の行使による資本金の増加49百万円及び資本剰余金の増加49百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,719百万円（前連結会計年度末に比べ11百万円減少）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は127百万円（前年同期は159百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益により136百万円、前渡金の減少により137百万円の資金の獲得等があった一方、売上債権の増加により218百万円の支出等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は196百万円（前年同期は273百万円の支出）となりました。これは主に定期預金の預入による支出263百万円、有形固定資産の取得による支出112百万円があった一方、定期預金の払戻による収入226百万円、貸付金の回収による収入50百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は57百万円（前年同期は606百万円の収入）となりました。これは主に長期借入れによる収入868百万円があった一方、長期借入金の返済による支出により702百万円、短期借入金の返済により100百万円、配当金の支払いにより88百万円の支出等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月14日の「2020年8月期 決算短信」で公表いたしました2021年8月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,250,258	2,275,628
受取手形及び売掛金	1,396,612	1,516,433
電子記録債権	143,404	242,300
商品及び製品	112,564	53,061
仕掛品	380,566	335,584
原材料及び貯蔵品	30,099	29,210
その他	393,828	336,815
貸倒引当金	△9,172	△9,257
流動資産合計	4,698,163	4,779,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	789,667	798,797
土地	1,996,853	1,996,853
その他(純額)	441,759	458,431
有形固定資産合計	3,228,281	3,254,083
無形固定資産		
のれん	7,606	7,171
その他	7,138	6,427
無形固定資産合計	14,744	13,599
投資その他の資産		
投資有価証券	203,703	256,708
その他	507,412	560,969
貸倒引当金	△2,939	△2,939
投資その他の資産合計	708,175	814,738
固定資産合計	3,951,201	4,082,420
資産合計	8,649,364	8,862,197
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	341,581	423,300
短期借入金	1,670,000	1,570,000
1年内返済予定の長期借入金	948,335	943,255
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	75,350	54,962
賞与引当金	24,557	25,496
その他	244,471	234,882
流動負債合計	3,324,295	3,261,896
固定負債		
長期借入金	2,451,037	2,621,817
役員退職慰労引当金	19,105	19,750
退職給付に係る負債	140,665	141,766
その他	135,133	130,337
固定負債合計	2,745,941	2,913,671
負債合計	6,070,236	6,175,568

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,013,297	1,062,420
資本剰余金	870,997	920,120
利益剰余金	709,595	711,055
自己株式	△138	△231
株主資本合計	2,593,752	2,693,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,647	△6,735
その他の包括利益累計額合計	△15,647	△6,735
新株予約権	1,023	—
純資産合計	2,579,128	2,686,629
負債純資産合計	8,649,364	8,862,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	3,091,429	3,243,657
売上原価	2,480,787	2,616,054
売上総利益	610,641	627,603
販売費及び一般管理費	524,545	496,125
営業利益	86,096	131,478
営業外収益		
受取利息	145	78
受取配当金	4,360	146
投資有価証券売却益	7,816	299
保険解約返戻金	105	789
固定資産賃貸料	8,553	7,774
補助金収入	1,000	4,937
その他	11,409	15,559
営業外収益合計	33,390	29,584
営業外費用		
支払利息	16,144	13,966
投資有価証券評価損	450	6,203
株式交付費	626	746
その他	6,028	5,465
営業外費用合計	23,250	26,381
経常利益	96,236	134,681
特別利益		
固定資産売却益	272	2,068
負ののれん発生益	24,310	—
特別利益合計	24,583	2,068
特別損失		
固定資産除却損	972	261
特別損失合計	972	261
税金等調整前四半期純利益	119,847	136,487
法人税等	32,489	46,838
四半期純利益	87,358	89,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,358	89,648

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	87,358	89,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	220	8,912
その他の包括利益合計	220	8,912
四半期包括利益	87,578	98,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,578	98,560

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	119,847	136,487
減価償却費	71,723	76,322
のれん償却額	434	434
負ののれん発生益	△24,310	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10	85
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△10,509	645
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,338	938
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△396
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△18,053	1,100
投資有価証券売却損益 (△は益)	△7,816	△299
投資有価証券評価損益 (△は益)	450	6,203
保険解約返戻金	△105	△789
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△2,068
固定資産除却損	972	261
受取利息及び受取配当金	△4,505	△224
支払利息	16,144	13,966
株式交付費	626	746
為替差損益 (△は益)	117	508
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,699	△218,716
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△27,772	105,374
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,783	81,719
未払金の増減額 (△は減少)	△27,472	7,130
前渡金の増減額 (△は増加)	△56,747	137,075
その他	△119,703	△141,993
小計	△104,509	204,511
利息及び配当金の受取額	4,505	221
利息の支払額	△20,618	△10,267
法人税等の支払額	△53,367	△67,012
法人税等の還付額	14,082	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△159,908	127,453
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△69,750	△263,750
定期預金の払戻による収入	100,244	226,949
投資有価証券の取得による支出	△158	△50,120
投資有価証券の払戻による収入	5,706	3,308
投資有価証券の売却による収入	94,419	1,111
有形固定資産の取得による支出	△87,138	△112,480
有形固定資産の売却による収入	—	2,200
貸付けによる支出	△201,494	△50,000
貸付金の回収による収入	353	50,000
保険積立金の積立による支出	△2,084	△2,483
保険解約による収入	105	1,346
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△114,347	—
その他	455	△2,429
投資活動によるキャッシュ・フロー	△273,688	△196,347

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	85,000	△100,000
長期借入れによる収入	1,652,000	868,000
長期借入金の返済による支出	△1,197,526	△702,300
株式の発行による収入	182,886	96,475
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△4,862	△5,582
配当金の支払額	△101,427	△88,528
自己株式の取得による支出	—	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	606,070	57,972
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	△508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	172,356	△11,430
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,160	1,731,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,369,517	1,719,984

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い新株式32,100株の発行を行いました。

その結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ49,122千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,062,420千円、資本準備金が920,120千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「前渡金の増減額(△は増加)」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△176,451千円は、「前渡金の増減額(△は増加)」△56,747千円、「その他」△119,703千円として組み替えております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積もり)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,451,934	1,286,470	353,024	3,091,429	—	3,091,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	330	—	—	330	△330	—
計	1,452,264	1,286,470	353,024	3,091,759	△330	3,091,429
セグメント利益	25,071	95,206	17,701	137,979	△51,883	86,096

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	△321
全社費用※	△51,562
合計	△51,883

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれんの発生益)

環境・エネルギー事業において、当第2四半期連結会計期間より協立電機工業株式会社の株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は24,310千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年9月1日至2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	環境・ エネルギー	動力・重機等	防災・安全	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,875,063	1,124,092	244,502	3,243,657	—	3,243,657
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,084	—	—	1,084	△1,084	—
計	1,876,147	1,124,092	244,502	3,244,741	△1,084	3,243,657
セグメント利益	85,079	86,081	16,459	187,620	△56,141	131,478

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益 (単位:千円)

	金額
セグメント間取引消去	17
全社費用※	△56,158
合計	△56,141

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。